



# 議会だより

いわてまち

主な  
内  
容

|  |    |
|--|----|
| 平成21年第1回<br><b>3月定例会</b> (会期：3月3日～12日) | 2  |
| 予算審査特別委員会                              | 6  |
| 一般質問 (4人)                              | 12 |
| 常任委員会レポート (所管事務調査)                     | 19 |

## みんななかよし

平成21年4月3日、民営化後初めての入園式が沼宮内保育所で開かれ、新たに入園する9人の仲間を、笑顔いっぱい迎え入れました。

第186号

平成21年5月14日発行

# ◆医療費助成対象の拡大

# 7,919万円 可決

## 平成21年第1回定例会

平成二十一年第一回定例会が、三月三日から十二日までの十日間開かれ、平成二十一年度一般会計予算など四十二案件を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。  
一般質問では、▽患者輸送バスの活用対策▽雇用対策▽保育所・児童館のあり方▽学校統合同題など四人の議員から質問がなされ、活発な議論が展開されました。

### 予算の骨子

平成二十一年度一般会計予算の総額は、七十二億七千九百九十九万円です。これは、消防団活動服更新やスクールバス購入、スポーツ文化センター整備事業などで増えたものの、定員適正化計画に基づく退職不補充による人件費削減や強い農業づくり交付金事業、白樫大渡線新設改良事業などの減によって、前年度に比べ〇・六%減りました。

未曾有（みぞう）の経済危機で税収が落ち込むなか、社会保障費の自然増や公債費の高い水準での推移など国の地方歳出の抑制によって、地方は厳しい財政運営を迫られています。

今年度は、アクションプラン2004を基本に、収納率の向上に伴う自主財源の確保と徹底した経費削減や合理化による、基礎的財政収支の黒字化を目指した予算となりました。

### 行政方針に町の未来と意気込みを語る

それぞれの思い描く  
将来の町の姿とは

定例会初日の本会議では、民部田幾夫町長が、六つの主要施策の大綱を基本に、平成二十一年度の施政方針を述べ、「多様性への対応」「独自性の発揮」「戦略性への挑戦」の三つをキーワードに新たな時代に対応できる行政経営を目指し、真に誇りを持つ「ふるさと岩手町」の創造に取り組みしたいと力強く訴えました。

その後、橋本壽美男教育委員長が、生涯学習体制の充実や学校・社会教育の充実など五つの柱を掲げた町の教育行政方針を述べ、町民憲章と教育目標を基本に、「個性豊かで創造にあふれる教育と文化のまちづくり」

の構築にむけて全力を傾けると、町の未来への意気込みを語りました。

### 県病問題、当初予算 各特別委員会も活発に

一般会計など九件の各会計当初予算案は、議長以外の議員で構成する予算審査特別委員会を設置して審議することが決まり、活発な議論が展開される一方、県立沼宮内病院の無床診療所化に関する調査特別委員会は、新しい経営計画の一時凍結などを県に求めようと、意見書案を提出。可決されるとともに、平成二十二年六月まで引き続きこの問題の調査活動を続けることが決まりました。

3つのリーディング政策で近い将来の発展を確かなも

スポーツ文化センター ◆ 特別養護老人ホーム建設

前年比マイナス  
4,225万円

一般会計 72億

### 教育行政方針

**新時代を築く人材育成と教育環境の充実を目指す**

教育をめぐる課題や価値観の多様化など、変化する社会情勢への的確かつ柔軟な対応が、町の教育に求められています。家庭や地域の教育力低下が叫ばれるなか、教育の原点や使命を再認識し、教育委員会組織の再編による機能の結集によって「個性豊かで創造性にあふれる教育と文化の町づくり」のため新時代を切り開く人材の育成と教育環境の充実を目指します。

### 施政方針

**将来の町の確かな発展をリードする3つの政策**

世界的な経済不況に伴う正規雇用者の就労や県立沼宮内病院無床化の問題など、町を取り巻く環境が厳しいなかにあつて、今年度も「岩手町らしさが輝くふるさとの創造」に努めます。特に▼スポーツ文化センターの実現▼特別養護老人ホームの建設▼医療費無料化の小学六年生までの拡大の三つを、町のリーディング（先導的）政策に掲げ、近い将来の発展を確かなものにして、町が目指す将来像の実現に全力を注ぎます。

### 平成21年度の各会計別予算

| 会計名    | 予算額         | 前年度比       | 予算の主な内容  |                      |
|--------|-------------|------------|--|----------------------|
| 一般会計   | 72億7,919万円  | △ 0.6%     | 緊急雇用創出事業、川口地区住宅団地開発事業<br>スクールバス購入事業、消防団服更新事業など |                      |
| 特別会計   | 国民健康保険      | 19億1,354万円 | △ 8.2%   |                      |
|        | 老人保健        | 196万円      | △ 98.9%  | 老人保健医療制度の実績清算        |
|        | 後期高齢者医療     | 1億2,813万円  | △ 1.5%   | 県後期高齢者医療広域連合負担金など    |
|        | 公共下水道事業     | 5億2,205万円  | 3.1%   | 処理場オキシデーションディッチ池増設など |
|        | 戸別浄化槽事業     | 2,782万円    | △ 25.9%  | 戸別浄化槽（5～7人槽）20基の整備   |
|        | 一方井財産区管理会   | 120万円      | △ 7.7%   | 造林事業の償還など            |
|        | 御堂財産区管理会    | 120万円      | △ 14.3%  | 造林事業の償還など            |
| 水道事業会計 | 収益的支出       | 2億9,214万円  |  |                      |
|        | 資本的支出       | 1億2,343万円  | △ 11.31%                                       | 消火栓整備（石神地区、横田地区）など   |
| 合計     | 104億8,547万円 | △ 12.03%   |  |                      |

※予算額…万円未満を切り捨てて表示しています。

# 平成21年度 一般会計

平成21年度の予算は、どのように使われるのでしょうか。

一般会計のあらましを、皆さんにお知らせします。

一般会計予算  
前年度比0・6%減

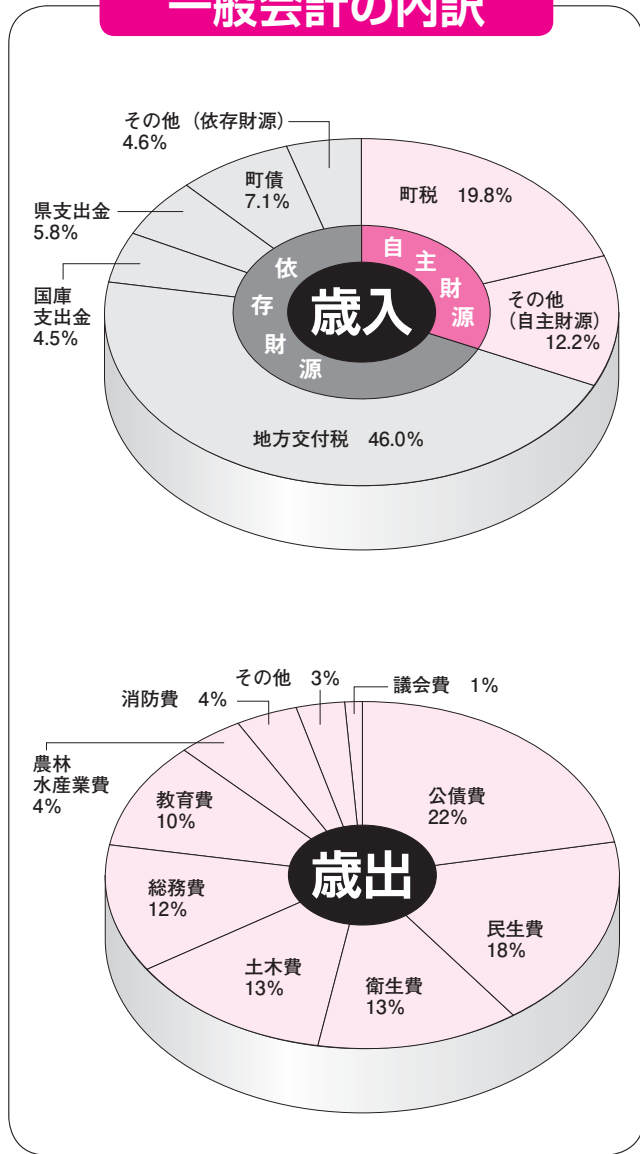
一般会計歳入歳出予算総額は、七十二億七千九百十九万円、対前年度比四千二百二十五万円、

公債費が依然として全体の二二%を占めるなど、依然として高く推移する一方、今年度は町債発行額が前年度に比べ二二%少なくなりました。

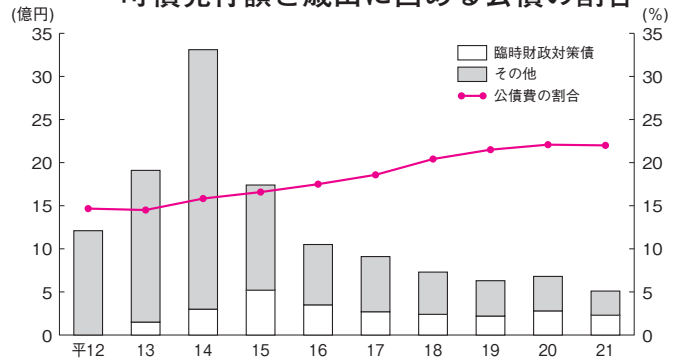
○・六%の減となりました。  
普通建設事業では、予算総額が対前年度比一一・五%の減となっておりますが、国の第二次補正予算に対応した地域活性化・生活対策臨時交付金事業の予算が二億二千九百五十九万円繰り越されたため、予算総額の規模は、実質前年度を上回ります。

依然と高い公債費比率、  
町債発行額は23%ダウン

## 一般会計の内訳



## 町債発行額と歳出に占める公債の割合



### 指定管理者

プラザあい、石神の丘美術館、総合グラウンドなど  
**44施設に32の管理団体を指定**

### 指定管理者の指定

町の公の施設を管理する指定管理者の指定期間が、平成二十一年三月三十一日で満了することから、現在の指定管理者を引き続き管理者として指定することが全会一致で決まりました。

指定期間はいずれも、平成二十一年四月一日から二十六年三月三十一日までの五年間です。

### 協議

▼**県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の増減と規約の一部変更に関する協議**

今回、指定期間の満了により管理者を指定する施設は全部で四十四施設で、三十二団体が施設の指定管理者として、管理運営を行います。

岩手県市町村総合事務組合を組織する団体の加入や脱退、それに伴う規約の変更に、全員が賛成しました。

### 人事

固定資産評価委員  
後任は久慈幸雄氏

### 固定資産評価審査委員

任期満了を迎える固定資産評価審査委員会の委員に、久慈幸雄氏(58)＝上浮島Ⅱを任命することに、全会一致で同意しました。

久慈氏は初めての就任で、任期は四月三十日から二十四年四月二十九日までの三年間です。



久慈 幸雄 氏

【メモ】  
※固定資産評価審査委員会は、議会の同意を得て町長が選任した三人の審査委員で構成される組織で、固定資産課税台帳に登録された価格についての不服を審査します。

# みなさんからの

## 請願 陳情

みなさんから提出された2件の請願が3月定例会で審議されました。

公契約法の制定に関する請願は、全員賛成で採択され、所得税法第56条の廃止に関する請願は、総務教育常任委員会へ付託されるとともに、閉会中に継続して審査されることが決まりました。

### 自家労賃を経費と見ない条文の廃止を

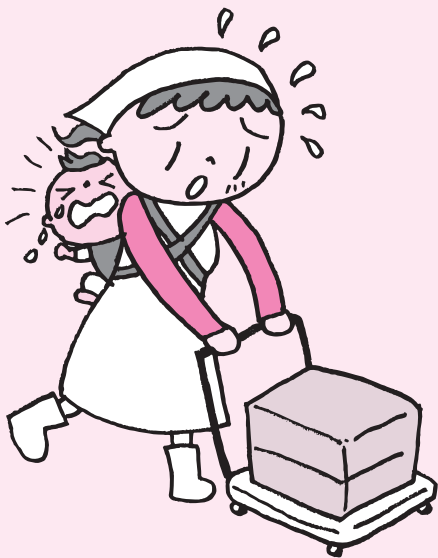
#### 継続審査

▼家族従業者の人権保障のため  
所得税法第五十六条の廃止を  
求める請願

【要旨】

中小業者がかつてない危機に直面するなか、業者婦人は家族従業者あるいは事業主として営業に携わりながら、家事や育児、介護と休みなく働いています。

しかし、「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」という所得税法第五十六条によって、どんなに働いても、働き分の自家労賃は必要経費に認めてもらえません。岩手は自営業者が多く家族従業者が事業



の重要な担い手です。所得税法第五十六条の廃止を求めて国に意見書を提出して下さい。

〔請願者〕

岩手県商工団体連合会婦人部  
協議会（会長 村上フヂヨ）

〔紹介議員〕 田村 正

●総務教育常任委員会に付託され閉会中の継続審査へ

#### 全員賛成で採択

▼公契約法制定など、公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願

〔請願者〕

岩手県建設労働組合連合会

（会長 菊地武實）

〔紹介議員〕 田中 二郎

#### 意見書

「新しい経営計画の一時凍結」  
「建設労働条件や賃金の確保」  
を求め、国や県に意見書を提出

▼県立病院等の新しい経営計画の実施凍結を求める意見書

昨年十二月の県議会定例会において、県立病院等の新しい経営計画案に対する請願が出され、「地域の不安払拭に努め、協議を続けるべき」との意見が付けられ採択された。

しかし、地域から具体的な提案などがあつたにもかかわらず、県医療局は一方的にその協議を打ち切り、県立六医療機関の無床化計画を盛り込んだ新しい経

営計画案を正式に決定し、四月実施を強行しようとしている。

これは、初期救急医療や看取り（みとり）医療など、わずかの間も受け入れる病院がないという事態の現実的な不安を抱える県民の意を無視した決定だと言わざるを得ない。

- ①新しい経営計画の四月実施を一時凍結し、自治体や住民との協議を続けること
- ②この計画を県政の最重要課題として再検討すること

▼公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書

建設業は、元請と下請という重層的な関係の中で、建設労働者の賃金体系が常に不安定な状態にあり、激化する受注競争と公共工事の減少により労務費などが引き下げられ、労働者の生活を不安定にしている。

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（入契

法）の成立時には、参議院で「建設労働者の賃金、労働条件の確保が適切に行われるように努めること」との決議が付けられていることから、建設労働者の適正な労働条件を確保し、公共工事の安全や品質を確保するため、次の措置を講じるよう強く要望する。

- ①公契約法制定を検討すること
- ②入契法成立時の付帯決議事項を早期に実現すること



# 予算審査 特別委員会

平成21年度の予算審査特別委員会(笹渡昇委員長)は、3月9日と10日の2日間の日程で開かれました。

活発な議論の結果、付託された議案すべてを可決すべきものと決定し、12日の本会議で可決しました。

# Q & A

特別委員会の審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

## ●財産区の町移管と地域の声

### 財産区の移管に地域の声は

**質問** 御堂、一方井の両財産区は町への移管が決定したとあるが、最終的な地域の声はどうであったか。

移管やむなしと理解を示す

**農林環境課長** 一方井財産区では▼今まで築いてきた財産区の思いを大切にしたい▼移管後でも一方井財産区であった場所から出た収益は地域に反映してほしい▼財産区が赤字になってから町に移管するのは理解が

得られないなどの意見が出された。財産区管理会では、移管に理解が示されたとして、町への移管は止むを得ないものと決定した。

一方、御堂財産区は、すでに造林資金が財政調整基金を上回り赤字となっている。地域からは▼早期移管はやむを得ない▼一方井財産区が移管を決めたのであれば御堂財産区の移管は当然などの意見が出された。今後町では、両財産区と協議しながら移管手続を進めたいと考えている。

## ●検診への取り組み

### 検診受診率の見込みは

**質問** ことしの検診受診率の目標値はどれくらいか。

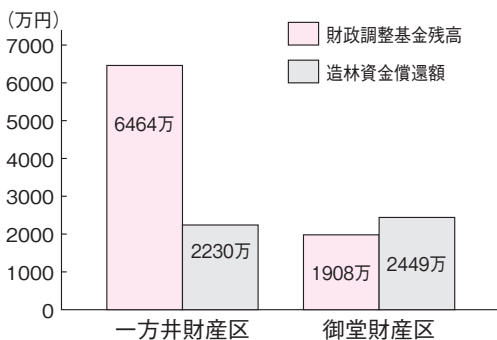
未受診者掘り起こしで60%維持を目指す

**健康福祉課長** 特定検診は四〇%、乳がんや子宮がん、胃がん

の検診は、今維持している六〇%を目標に取り組みたい。

特にがん検診の場合、今まで検診を受けたことのない未受診者の掘り起こしがとても重要になるので、電算を活用し、対策を強化しながら高受診率化を目指したいと考えている。

財産区の基金残高と造林資金償還額の比較



## ●(仮称)スポーツ文化センター建設構想

### 体育館の多機能化は建設費用を増大しないか



着々と建設計画が進む岩手町体育館 (4月19日 スポーツ少年団結団式)

**質問** プラザあいや総合開発センターなど、今ある施設の活用も必要だと思うが、体育館の建設費用は多機能であればあるほど増えるのではないか。

一定の予算内で内容充実を図る

**副町長** 町では、さまざまなイベントに対応した総合的施設として建設するもので、多機能な理由に事業費が増えることがないよう、一定の予算内で内容が充実した体育館施設にしたいと考えている。

**質問** 町長は、施政方針でスポーツ文化センターや教育委員会組織の再編、図書館、公民館などの内容に触れているが、これは教育委員会権限ではないか。

**副町長** 教育委員会に限らず幅広い用途に対応する体育館は、町の大きな財源を要する。また、機構改革では、それぞれの部局を一体的に町全体の行政組織として確立したい。こうしたことで町長が方針を述べたもの。組織的には独立した面もあることから協議しながら、一体的に進めたいと考えている。

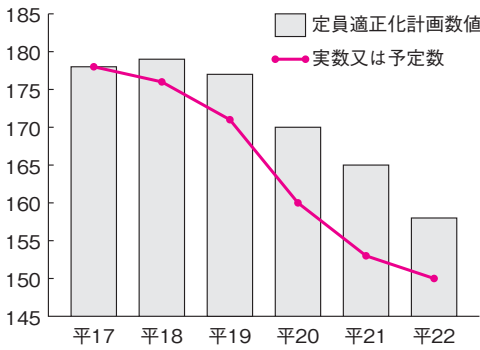
● 定員適正化計画と職員の数

# 職員数の実態が計画と大きくかけ離れてはいないか

**質問** 住民福祉の増進を役割とする行政のいたずらな合理化は避けるべきで、バランスのとれた年齢構想の確立が必要だとする定員適正化計画に比べ、町職員の数が少ないのではないか。

## 町の将来人口を視野に数を調整

**総務課長** 五年間で二十人減らし、平成二十二年度までに職員の数に百五十八人にするという計画の中、平成二十一年度の職員数は百五十三人となり翌年



● 沼宮内保育所の民間委託

# 沼宮内保育所の民営化 保育体制の引き継ぎやいかに



時代と社会が移りかわっても子どもの健やかな成長への願いはかわらない(沼宮内保育所)

# 国では地方交付税が増えたのに 町はなぜその予算を減らしたのか

**質問** 国では地方交付税は減らしていないと言っているが、町の予算見込み額が減ったのは何か特別な意味あるのか。

## 今後の問題を考え 低く試算

● 地方交付税

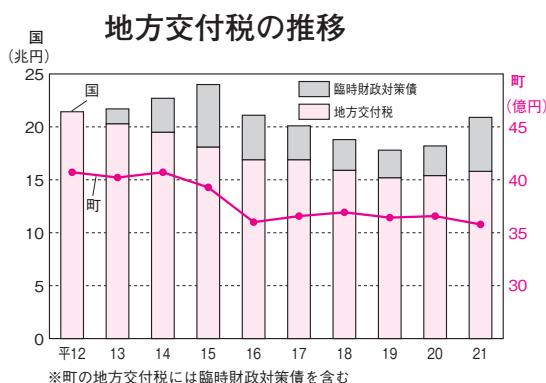
度には約百五十人になると予想される。当初の見込みよりも八人少なくなり、定員適正化計画よりもかなりの早さで減少が進んでいるのが実態である。しかし、三十年後の町の人口が一万人とも試算されるときに、職員はどれくらいの人数がいいのか、将来を考えた調整と採用が必要になる。

今後は、新しい仕事に向かうための組織機構へと変えながら、住民サービスを落とさないように進めていきたい。

**総務課長** 国では、地方交付税が前年度比二・七%増(四千四百億円)の総額十五兆八千二百億となり、平成十二年以来九年ぶりに増えたと説明しているが、三位一体の改革で本税が減っている。総額が増えた要因は、本

税とは別に、生活防衛対策費が新たに一兆円設けられたことなどによるもので、国からは一・三%増やして予算をつくるようにとの指示もあった。

町の地方交付税予算額を〇・一%減らした背景に興味するものは特別なないが、今後の問題もあることから、少し低めに見積もった。



**質問** 川口保育所に続き、沼宮内保育所の民間委託が実施されるが、今回は、どのように引き継ぐのか。

## 子供との接点と 研修を重点に交代

**町民課長** 川口保育所の場合、採用予定職員と従来の職員を交代したが、勤務する職員と変わらないことから、沼宮内保育所では、実際に今やっている保育士に新採用職員を補助的に入れ一緒に勉強する研修体制をとっている。

委託開始後も引き続き子供たちと接点を持つ職員がいるように交代させたい。

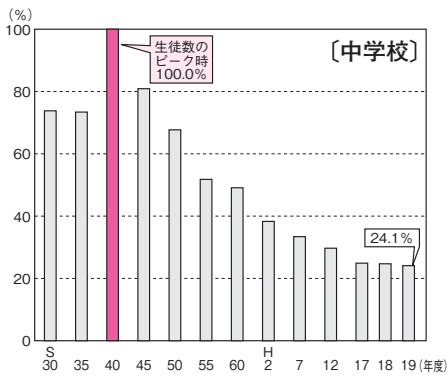
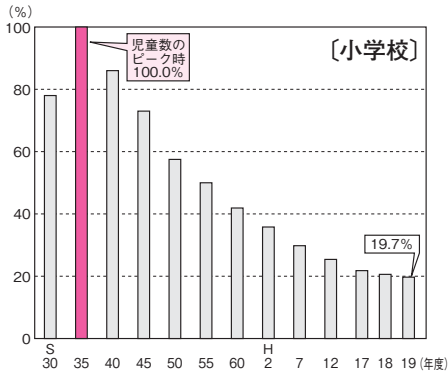


# 目指す教育の姿とは何か



閉校が予定される南山形小学校の子どもたち

ピーク時に対する児童生徒数の割合の変化



**質問** 文化の伝道や地域のよりどころとして役割を担うなど、小さな地域にとって特別な存在である学校が、今再編という苦渋の選択を迫られている。教育委員会が目指す教育の将来像を示せ。

学校は地域文化の拠点  
その思いが愛郷心・愛校心を育む

**教育委員長** それぞれの地域には、学校だけでも百年以上の歴史があり、地域が愛着を持って学校を守り育ててきた経緯がある。学校が地域文化の拠点や住民のよりどころであるのに異論はなく、それぞれの学校や地域で育ってきた思いが愛校心や愛郷心となっていると思う。

しかし、限界集落など地域の環境も変わりつつある中で学校のことも考えなければならぬ。ただ教師と子供という立場だけでなく、その中で練り合っている一つのものを作り上げるのが教育の場だと思う。複式学級を経験する先生も少なく、その力量を育てなければならぬが、複式のままではいいわけではない。一応のめどはあるが、ゆっくり進めなければならぬ部分もあり、学校再編は地域の考えを大事にしながら進めていきたい。

# 悩みを抱える子供たち その支援活動の概要は

**質問** 悩みを抱えた子どもたちの自立支援を目指した活動の状況はいかに。



石神ハートで指導にあたる岩井文枝さん。

総合開発センターに  
石神ハートを設け支援

**学校教育課長** 教育支援センター「石神ハート」という教室を総合開発センターに設け、不登校などの悩みを抱えた児童生徒の自立を支援している。平成二十年度に入級した八人のうち二人は学校に戻った。現在は、中学生五人と小学生一人の計六人の子どもに対する自立支援を行っている。

# ● 公民館の管理運営と住民サービスの向上

## 経年劣化する沼宮内公民館 今後の管理運営は

**質問** 沼宮内や川口など利用率の高い公民館施設を改善し、住民サービスの向上を図っては。

現状を精査し  
順次改修に努める

**社会教育課長** 沼宮内公民館は、これまでまったく手をかけてい

なかった屋根の塗り直しを行う。一方、川口公民館は、百人を超える団体の利用に対応できず、狭いとの声もあるが、新築となると財政的にとても難しい。町では、限られた財源の中、現場を精査しながら検討を重ね、順次改修に努めたい。

## 地場産品の活用など 食育に根差した給食の充実を

**質問** 燃料の高騰に伴う諸材料費の高騰や食の安全意識の高まりなどによって給食材料の確保に苦労していると思われるが、コスト重視では本当の食育にならない。地場産品の活用など、町では食育を考えた内容の充実について取り組んでいるか。

全体的な予算の中で、検討し献立を工夫

学校教育課長 現在は栄養士の

指導のもと、子どもの年代に合わせたカロリー計算をしながら、できるだけ安価で見栄えがよく、おいしい給食にしようという献立の工夫に取り組んでいる。

学校からは、材料など給食に対する要望もあるので、全体的な予算の中身で検討しながら、献立を立てていきたい。

特別委員会でも町長は、齋藤純氏の石神の丘美術館新芸術監督就任について説明しました。

## 石神の丘美術館の新芸術監督 齋藤純氏の就任を報告

た齋藤純氏と、基本的な合意を得ることができた。

美術館として多くの発信をしながら、町も幅広く発信してほしいという願いのなか同氏と会談したところ、共通の認識を持つていただけると感じた。

経済不況のなか疲弊する社会にあって心の安らぎを芸術文化

**町長** 昨年、石神の丘美術館の芸術監督であった故六岡康光氏が逝去された。以来、町では後任者を探していたが、去る三月に何人かの候補の中から選ばれ

## 図書館民間委託にどう取り組むか



数々の貴重な蔵書を所有する町立図書館

に求める、そういう核として石神の丘美術館を隆盛したいと願い、今後も美術館の振興に意を用いてまいりたい。

**質問** 歴史的ある町立図書館が民間委託でどう発展するか。図書館民間委託の具体策を示せ。

広く意見を聞き  
詳細を検討

**教育委員長** 図書館業務の民間委託は、岩手町行政組織機構の将来像の中にあり、それを受けて検討していきたいと思ってるが、具体的な内容はまだ決まっていない。

長い歴史があるものを新たに替えていくことなので、議論を深めることが必要だと思ってる。町民に幅広く親しまれる町に合った図書館の運営方法、あるいは民間委託が町に適当なのかどうかも含めて、意見を聞きながら検討していきたい。

## ●その他特別会計

**質問** 検診が強調されるなか、人間ドック受診助成対象者数の拡大が必要ではないか。

**町民課長** 国民健康保険では、ひとりあたり五千円とする人間ドック受診補助の対象者数を五十人とするほか、一般計からも一割上乗せして補助している。今後、検討が必要だと思ってる。

**質問** 管渠布設工事など水道工事終了後の路面にでこぼこが目立つ。地域の利用者に配慮した舗装路面の復旧方法が必要では。

**水道事業所長** コンクリート層の厚さや掘削部分が狭くて転圧が困難な場合があるので、いったん仮舗装を施した後、自然転圧を待つて本復旧をしたいと考えている。



齋藤 純 氏

# 討 論



## 賛成

佐藤 竹広 議員

**未** 曾有の経済危機で、政府が極めて厳しい財政運営を余儀なくされるといふ社会経済のなかで、町は町民の幅広い行政期待に応えながら、効率的な財政運営と健全財政を維持するという困難な課題に取り組まなければなりません。

岩手町らしさがキラリと輝くふるさとの創造を目指して編成された平成二十一年度の予算は、前年度に比べ〇・六%減りましたが、三つのリーディング政策

### 新時代対応を目指した行政経営の姿勢を評価

を掲げるなど、新時代に対応できる行政経営を目指した姿勢が貫かれ、高く評価できます。これまでさまざまな改革に取り組んできた「アクションプラン2004」は、ことし計画の最終年度を迎えます。財政状況が厳しさを増す中、この計画の着実な実行を軸に、基礎的な財政収支の黒字化を図りながら最少の経費で最大の効果を生み出さんとする姿勢のもとで堅実に編成されている予算に賛成します。



## 反対

田村 正 議員

**町** 民所得が減収する中、体育館建設に七億も投資するのは問題です。学校給食センターや川口保育所に続き、沼宮内保育所と立て続けに民営化が推し進められています。経済効率だけでは福祉を増進できません。

また、学校統合の計画が決定しました。複式学級の解消だけが強調され、地域の文化や交流、子供の通学対策といった検討がなく、特にも子を持つ親が地域を離れる可能性があり、安易に提起すべき

### 暮らしを守り、福祉を増進するには遠い予算

課題ではありません。一方、十六億余の公債費は、歳出の二割を超え、財政の硬直状態が続いています。職員数は計画より八人も多く削減され、必要以上に減らしています。

一定の職員数確保が必要です。町の予算を町内に支払い可能な事業に使い、町民の懐を豊かにしてこそ、町は活性化します。町民の暮らしを守り、福祉の増進には遠い予算には反対です。

自治能力を維持、発展する上で、専門職など

## 我が家の家計簿

|         |          |
|---------|----------|
| 給料      | 242,000円 |
| 基本給     | 152,000円 |
| 能力(歩合)給 | 59,000円  |
| 手当      | 31,000円  |
| 借り入れ金   | 21,000円  |
| パート収入   | 34,000円  |
| 預金引き出し  | 3,000円   |
| <hr/>   |          |
|         | 300,000円 |

### 収入 支出

|          |          |
|----------|----------|
| 家賃・水道光熱費 | 35,000円  |
| 医療・衛生費   | 40,000円  |
| 衣料・食糧費   | 70,000円  |
| 子どもの学費   | 31,000円  |
| 家の修理代    | 38,000円  |
| その他      | 20,000円  |
| ローン返済    | 66,000円  |
| <hr/>    |          |
|          | 300,000円 |

預金の残高は？

**約32万円**

ローンの返済残高は？

**約611万円**

※平成21年度予算額を30万円として計算しています。



多い日は30人以上が利用する患者輸送バス。この日も10人を超えた。

## 患者輸送バスの利活用を図れ

議員

町長

## 新交通システムの構築を検討

高齢者の交通の足に患者輸送バスの活用を

質問 日ごろ、患者輸送バスが高齢者の交通の足として利用できる、大変助かるとの声を聞く。患者輸送バスは患者が優先されるのが当然だが、町民への開放によりバスの無駄歩きも解消され、有効利用されると思われるが、高齢者の足として利用することに対する町の考えを伺う。

利用者に関係なくバスの運行は維持したい

町長 患者輸送バスは、国の僻地保険医療対策実施要綱によって住民の医療を確保するため、中心となる医療機関から四キロメートル以上離れた場所や、十五分以上歩かなければ通常の交通機関が利用できない地域を対象に、週五日運行している。

一運行あたりの平均利用者数は一三・八人であるが、場所によっては開きがあり、多いところでは二十人を超え、少ないところでは五人にも満たない。利用者の数も減少が続いていることから、町では、患者輸送バスやスクールバスなどの町が所有するバスの有効活用や、新たにタクシーを利用したデマンドタクシー（※）など、根本的な見直しを図り、将来の展望を開くべく新たな交通システムの構築にむけて平成二十一年度中にその方向を検討したいと考えている。

今後、利用者が減少しても、バスによる住民の足は最低限確保し続けてたい。

町民の関心が高い

老人ホームの整備概要は

質問 独居老人が増えつつあるなか、寝たきりへの不安を抱える人や家族介護者が安心して働くため、老人ホームは必要不可欠である。今や町民の高い関心事の一つとなっている老人ホームの整備について、その建設予定地や料金など、町長の考えを伺う。

将来への安心へ心を込めて整備を推進

町長 ことし二月、第四期介護保険事業計画が盛岡北

部行政事務組合議会で正式に決定された。新設入院

ベッド（五十床）とショートステイ（五床）を兼ね備えた特別養護老人ホームの整備がようやく実現する運びとなり、これまで長い間実現できずに多くの町民から要望を受け、国や県など関係機関に強く要望を繰り返してきた活動の努力がようやく実った。

今後は、平成二十三年度建設を目指して、社会福祉法人による民設民営の施設整備を基本に検討を進めるとともに、その建設場所は設置運営事業者と協議したいと考えている。

料金は、居室の種類など施設によって異なるが、介護保険の施設サービス費の一割と施設ごとに設定する食費や居住費、日常生活費などの合計費用が自己負担となる。

町では、生涯現役で暮らせる町づくりのため、健康生き生きサロンなどの新しい施策も展開しており、「将来への安心が身近に感じられるための施設は必要である」を基本に、心を込めて施設の建設を推し進めたいと考えている。

※「デマンドタクシー」…交通手段に不便を来している方を自宅などから目的地まで、乗り合いタクシー方式で送迎するサービス





## 一般質問



民間委託開始から1カ月がすぎた沼宮内保育所。そこにはいつもとかわらない園児たちの笑顔があふれている

議員

## 保育所・児童館のあり方を示せ

町長

## 委員会を新設し総合的に検討

**保育制度改革は市場化か  
沼宮内保育所の民間委託**

**質問** 厚生労働省の少子化対策特別部会は、市町村の保育実施義務にもとづく今の保育制度から、利用者と保育所が直接契約を結ぶ新たな仕組みへと変える第一次報告を決定した。これでは、介護保険と同様の事態招くのではないか。

また、沼宮内保育所の民間委託は中止すべきと思うが、保育あるいは、町内の保育所、児童館のあり方を町長はどう考えているか。

保育所制度改革は必要だが急激な変化は避けるべき

**町長** 幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を養う上で極めて重要な時期で、家庭や地域、行政が連携し、それぞれの役割を果たす必要がある。保育には、保護者にかわって児童を保育する目的のほか、乳幼児の心身の健全な発達を促す役割もあると考えている。

これまでは、町立保育所民営化あり方検討委員会の計画に沿って、沼宮内保育所の民営化も進めてきた。

今後は、行政のスリム化と多様化する保育ニーズに対応しつつ、保育サービスの向上を図るため、新たに検討委員会を設け、地域の実情を考慮しつつ子育てしやすい町づくりの施策に合った方向性を総合的に検討したい。

現在の保育所制度も社会保障制度とあわせて改革が必要だが、急激な変化は避けるべきである。

**質問** 保育所の市場化はまさに福祉の後退である。人の尊厳を尊重する視点に立った生活弱者の支援が本当の行政の心ではないか。

**町長** 私は、行政や政治というものが額に汗した人が報われる社会の実現でなければならぬと考えており、本当に頑張っている人が困らないような社会の実現に取り組み、結果として支え合うような社会の構築を、目指していきたい。

**第四期介護保険事業計画の主な内容とは**

**質問** 第四期介護保険事業計画の主な内容と、特別養護老人ホーム建設の計画概要を示せ。

念願の特養ホーム建設  
詳細は事業者と協議

**町長** 第四期介護保険事業計画の主な内容は、次のとおりである。

①平成二十三年度に、介護療養型医療施設を廃止して介護療養型老人保健施設に転換整備する計画と、特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護を新たに整備する計画が盛り込まれた。

②国から交付される介護従事者処遇改善臨時特例交付金により計画期間中の保険料が減額され、平成二十一年度からの介護保険料基準額が第三期計画と比べ、月額十円の上昇に抑えられた。

③第二段階の介護保険料が、第一段階と同じ負担に軽減されたほか、第四段階に新たな保険料段階が設けられ、実質七段階となった。

設置が見込まれる特別養護老人ホームは、個室多床型の従来型施設とユニット型施設の二つに大別される。町では、従来型多床室に一部ユニット型を含めた施設にしたいと考えているが、設置運営事業者が決定したときに改めて協議したい。

ここが聞きたい



野球場側から見た体育館。今はまだ木々に囲まれながら静かにたたずんでいる。

議員

# 体育館の必要性と経済効果は

# 心身の健全な成長を願い整備

町長

厳しい財政状況と  
体育館建設の必要性

**質問** 平成二十三年年度完成を目指し体育館建設計画が進んでいるが、財政状況が厳しいなか、数億円かけて整備する必要があるか。

町債の残高も減少傾向。

事業全体の調整で対応可能

**町長** 体育館は、町の子供たちが、より大きな舞台で多くの仲間とスポーツや文化を通じた切磋琢磨により、心身ともに健全な成人への成長を願い整備するもの。

多くの方の利用で町内外の交流人口が一層拡大し、子供から大人まで生涯現役で暮らせるまちづくりが実現されることが、最大の建設目的であり効果である。

**副町長** 現在、町の借金残高が減少してきており、厳しい財政のなか十分に対応できると思う。全体の事業を調整しながら、特別な財政負担のないようにしたい。

**学校統合の意義と  
適正な学校規模**

**質問** 学校統合は行政が提起するのではなく、住民の

発信によって取り組むべき課題ではないか。急ぎ過ぎにも思われるが、地域住民の理解や協力、信頼をどう得ていくのか、学校再編計画の進捗状況を示せ。

画一的な判断をせず

理解と協力の下で推進

**教育長**

学校設置者の責務は、よりよい学習環境や教育活動の場の構築であることから、昨年度、学校再編計画を町教育振興審議会に諮問したところ、ことし二月、今後の取り組みへの指導や助言とともに、答申が打ち出された。今後は、計画に沿って、保護者や地域住民の理解と協力のもとに再編を進めたい。

小規模校といっても、町の場合は極小規模人数である。学校再編は、増加する複式学級の解消が目的であり、規模拡大や小規模校の否定が念頭にあるものではない。

保護者や住民の将来展望や学校統合に対する思いに隔たりもあり、画一的な判断によらない、児童生徒の教育環境の充実に配慮した合意形成に努めたいと考え

ている。

地域医療を守る町内地元  
医師団との長期的運動

**質問** 県民の声を無視した新経営計画の決定を、町長はどうとらえているか。

また、地域医療を守り育てるため、十二月議会で提起した県立沼宮内病院の六つの機能を、町内医師団との協力で、どう体制を築くのか。現状維持に向けた長期的運動と対策を示せ。

地元医師団と県立沼宮内  
病院の関係づくりを支援

**町長**

県が新しい経営計画を一方的に決めたことは、住民との信頼の上に成り立つ県政において問題であり、非常に残念である。

県立沼宮内病院のベツトが必要不可欠であることは、町民や地元医師団の共通した認識であり、今後も医師団と意思疎通を図り実効性と具体性のある内容に向け懇談しながら、県立沼宮内病院としての維持存続のため、気を緩めずに対策を講ずるとともに、地元医師団と県立沼宮内病院の関係づくりを支援していきたい。

ここが聞きたい

# 定額給付金で 生活に活力を!!



二十年度  
補正予算

## 国の第2次補正予算に伴い 町も2億円超の大型補正

平成二十年度一般会計ほか各種会計の補正予算七案件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

### 一 般 会 計

一般会計は、二億八百四十五万九千円が追加され、予算総額が七十九億四千九十九万七千円になりました。

歳入は、畜産担い手育成総合整備事業費県補助金や都市計画街路整備受託事業収入、町債が減ったものの「生活対策」や「生活防衛のための緊急対策」などが盛り込まれた国の第二次補正予算に伴って実施する事業補助金などにより、大幅に増えました。

歳出では、退職手当負担金や定額給付金の支給時期に合わせて実施する共通商品券の発行事業への補助金のほか、地域活性化・生活対策臨時交付金事業などが増えた要因となりました。今回の補正予算には、十六事業に関する繰越明許費が計上さ

補正された予算の会計別一覧 (万円未満切り捨て)

| 会計名  | 補正額      | 補正後の予算額     |            |
|------|----------|-------------|------------|
| 一 般  | 2億 845万円 | 79億4,099万円  |            |
| 特別会計 | 国民健康保険   | 7,170万円     | 20億1,285万円 |
|      | 後期高齢者医療  | △1,086万円    | 1億2,048万円  |
|      | 公共下水道事業  | △1,187万円    | 4億9,684万円  |
|      | 戸別浄化槽事業  | △2,373万円    | 1,383万円    |
|      | 一方井財産区   | 15万円        | 300万円      |
| 水道事業 | 収益的支出    | 23万円        | 2億8,433万円  |
|      | 資本的支出    | △365万円      | 2億5,528万円  |
| 合 計  |          | 111億2,763万円 |            |

れましたが、そのうちの十三事業が国の第二次補正予算に伴って実施する事業です。

### その他の会計

国民健康保険特別会計は、後期高齢者医療制度に伴う退職者医療制度の対象年齢引き下げにより、一般被保険者数が増えたことから診療報酬が増え、予算を増額しました。

一方、戸別浄化槽事業特別会計は、当初、浄化槽設置数を三十基見込んでいたのが十二基に止まったほか、事業費の精査により、予算を減額しています。

「はい、右を見て～」  
まずは安全第一、確認を忘れずに。  
(北山形公民館での交通安全教室)



対象者数は16,158人  
「定額給付金」

2億6,515万円

国の生活対策に盛り込まれた給付金方式で、景気の後退による不安に対処しようと、住民の生活支援と地域の経済対策のために実施される経済対策のひとつです。

■定額給付金の概要

- (1) 給付対象者  
平成21年2月1日（基準日）に町の住民基本台帳に記載されている方、または外国人登録原票に登録されている方。
- (2) 給付額  
1人あたり12,000円（ただし65歳以上または18歳以下の方の場合は20,000円）



# 補正予算の 主要内容 一般会計

外壁補修や屋根塗装  
各種公民館の改修

施設建設後の経年劣化による老朽化で、傷みの激しい総合開発センターや勤労青少年ホーム、川口公民館の改修を実施します。

- 岩手町総合開発センター  
大規模改修事業 2,859万円
- 勤労青少年ホーム屋根  
塗装及び館内改修事業 504万円
- 川口公民館屋根、外壁  
などの改修工事 570万円



完成は9月中旬  
水堀保育所改築工事

7,284万円  
(工事請負費)

建築から40年以上が経過し、著しく老朽化していることから、水堀保育所を改築します。現在の建物は昭和42年に完成し、翌43年4月に開所した施設です。

今回、国の第2次補正予算に伴う地域活性化・臨時対策交付金を活用して、木造平屋建ての施設として整備されます。

面積は284.11平方メートル、定員は20人を予定しています。

平成21年9月の完成を目指し、現在、その建設が進められています。



建設予定地



水堀保育所の子どもたち

天皇賜杯など全国大会へ  
球場スコアボードを新設

3,948万円  
(工事請負費)

岩手町野球場は、雇用能力開発機構が、平成元年3月に岩手勤労者体育センターとして建設し、平成15年10月に町

に譲渡された施設です。

岩手町は、平成21年度の高松宮賜杯（B級）や、平成23年の天皇賜杯（A級）といった野球の全国大会の会場地になることが決まっているものの、野球場のスコアボードが老朽化し、傷みも激しくなっていることから、改修、新設することになりました。



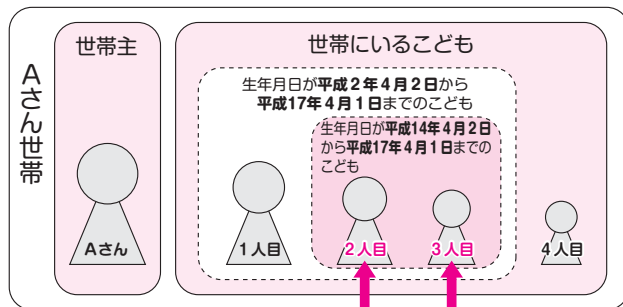
岩手町野球場スコアボード

3～5歳の第2子以降が対象  
子育て応援特別手当

9,401万円

国の生活対策で、多子世帯の幼児教育期の負担に配慮しようと支給される今回限りの手当です。

第2子以降の3～5歳の子どもを対象に、1人あたり36,000円が支給されます。



手当の対象となる子ども

# 条例

## 小学校卒業まで医療費無料化 医療費給付条例の改正を可決

### 雇用促進住宅は「上愛宕下住宅」へと名称変更

条例案は、議員発議による会議規則の改正をはじめ、十二件が出され、すべて原案どおり可決しました。

#### 新制定など

##### ▼町有住宅条例

旧一方井教員住宅のほか、町が購入する雇用促進住宅を、新たに町有住宅として利用するため、その管理方法など必要な事項を定めました。

##### ▼電源立地地域対策基金条例

電源立地地域対策事業に必要な経費の財源に充てるための基金を創設し、管理方法など必要な事項を定めました。

##### ▼統計調査条例

町の統計調査における適正な情報管理や保護のほか、罰則を設けるなど、統計法の改正に伴って、従来の条例をすべて改めました。

条例に違反すると、二年以下の懲役または百万円以下の罰金が課せられます

#### 一部改正

##### ▼乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者等医療費給付条例

子育て世帯の経済的な負担を少なくしようと、医療費の助成対象を「満六歳」から「十二歳」にまで拡大しました。

##### ▼母子、父子家庭及び寡婦医療費給付条例

一部改正された中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法

律による支援給付の受給者を、医療費の助成対象者から除くなど、必要な事項を定めました。

##### ▼町営住宅条例

町が購入する雇用促進住宅を、上愛宕下住宅として新しく町営住宅に加えるほか、暴力団員の入居を防ぐための制度などが設けられました。

##### ▼個人情報保護条例

統計法の改正や統計報告調整法の廃止、町統計調査条例の改正に伴う条文の整理をしました。

##### ▼福祉医療資金貸付基金条例

老人医療費助成規則の廃止に伴い、福祉医療資金の貸付対象者から老人医療費の受給者などを除き、条文を整理しました。

### 財産取得

#### 雇用促進住宅の購入

##### ▼財産の取得

町の公的住宅にしようと、町が雇用促進住宅を買い入れることに全員が賛成しました。

##### ○取得する財産

雇用促進住宅の土地、建物

##### ○購入価格

約七千七百八十七万円

##### ○購入相手

雇用・能力開発機構



上愛宕下住宅へと名称をかえる雇用促進住宅

##### ▼手数料徴収条例

岩手県の事務を市町村が処理することとする事務処理の特例に関する条例の改正により、優良宅地造成認定事務や優良住宅新築認定事務に関する申請手数料などを定めました。

##### ▼戸別浄化槽条例

公平な利用者負担の実現と、戸別浄化槽の加入促進を図ろうと、戸別浄化槽の月額使用料を改定しました。

##### ▼文化財保護審議会条例

学校教育課と社会教育課を統合し、新たに教育委員会事務局として組織を再編することに伴い、関係条文を整理しました。

#### 議員発議

##### ▼議会会議規則

昨年六月に地方自治法の一部が改正され、議会運営に必要な協議の場を設けることができるようになりました。

これまで事実上の会議として開かれていた全員協議会が、議会の正式な活動に認められるようになったことから、町議会も全員協議会を議会の活動として明確に位置付けようと、必要な事項を定めました。

# 常任委員会 レポート

## 平成21年度の 主要事業を徹底調査

### 所管事務調査会



所管事務調査会の様子

総務教育常任委員会（笹渡昇委員長）と産業民生常任委員会（岩崎富士夫委員長）は、平成二十一年度に実施される主な事業を調査しようとして、四月二十三日、所管事務調査会を開催しました。

常任委員会が行う所管事務調査会は、それぞれの委員会が所管する課の主な事業などを調査しようとして毎年開かれているものです。

今年度は、議員改選に伴い常任委員会の数が二つに見直された後はじめて開かれる調査会となり、委員の数も充実し、活発な意見交換が行われました。

◆調査後の委員長談話◆  
調査終了後、それぞれの委員長から、調査を終えた感想を寄せていただきました。

#### ▼総務教育常任委員会

特にも小学校の再編（適正化）に関心が高かった今回の調査会だが、終始和やかな雰囲気の中にも活発に意見交換がなされ、充実した内容であった。

#### ▼産業民生常任委員会

各課担当者との意見交換の中で、細部にわたり事業内容をより理解・把握できてよかった。事業が効率的に遂行される事を期待したい。

| 委員会名          | 所管する課の名称   |
|---------------|--|
| 総務教育<br>常任委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務課</li> <li>・企画商工課</li> <li>・税務会計課</li> <li>・教育委員会事務局</li> </ul>              |
| 産業民生<br>常任委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民課</li> <li>・健康福祉課</li> <li>・農林環境課</li> <li>・地域整備課</li> <li>・水道事業所</li> </ul> |

### 監査

#### 水道事業所現物棚卸監査

健康な暮らしを支える  
良質な水管理への取組みに関心



職員の説明に聞き入る監査委員

松森恭一代表監査委員（識見）と瀧本秀雄監査委員（議選）は、

三月三十一日、川口浄水場と子抱浄水場の二施設を訪れ、水道事業所の管理する台帳と現物が一致しているかどうかについて、棚卸し監査を行いました。

監査委員は、職員の説明のもと、丹念にひとつひとつ台帳と現物を見比べ、町民の健康と生活を支える良質な水の管理に配慮した管理方法に、大きな関心と期待を寄せていました。

### 務 政 調 査 会

#### 第48回定期総会開催を開催

岩手町政務調査会（佐々木光雄会長）は、四月二十四日、道の駅「石神の丘」にあるレストラン石神の丘を会場に、四十八回目を迎える定期総会を開催しました。総会では、平成二十一年度の事業計画など五案件が審議され、いずれも原案のとおり決まりました。



議会の様子（道の駅石神の丘）



一般質問の様子を見守る傍聴者

# 声 声 声

## 議会の傍聴席から

お寄せいただいた感想を紹介します

三月四日に開かれた平成二十一年第一回定例会二日目の一般質問では、沼宮内公民館の呼びかけなどにより議会の様子を傍聴しようと、たくさんの方々が議場に訪れました。

この日の本会議で一般質問を行った議員は四人。傍聴に訪れた人は、町政をただそうと次々に展開される議論の行方とその様子を、静かに見守っていました。

議会の様子を見終えた感想や日頃感じていることなど、傍聴者から寄せられた声を皆さんにご紹介します。

### 傍聴者の声

**県** 立沼宮内病院の無床化について

県医療局や県では医師減少や医師不足、赤字あるいは入院ベット廃止など、診療応援によつて医師の負担が増す悪循環であるとして、押し切られていくように思いました。

しかし、地域住民一致してなんとか県立沼宮内病院が無床化にならないよう町民も頑張る決意があるという、町当局の発言を聞いて安心しました。十二月県議会の条例改正まで頑張ってください。(六十代 男性)

## 議会のうごき

平成21年1月30日～5月8日

- 2月2日 県立沼宮内病院の病院機能充実と維持存続に関する調査特別委員会
- 3日 県立沼宮内病院の病院機能充実と維持存続に関する調査特別委員会県内行政視察調査(県立軽米病院)産業民生常任委員会県内行政視察(二戸市、九戸村)
- 4日 政務調査会「町理事者並びに千葉県議会議員との懇談会」
- 5日 県立沼宮内病院の病院機能充実と維持存続に関する調査特別委員会県内行政視察調査(県立東和病院)
- 13日 県町村議会議長会第4回定例理事会
- 17日 議員全員協議会 総務教育常任委員会(請願審査)
- 20日 県町村議会議長会第60回定期総会(盛岡市)
- 24日 議会運営委員会
- 3月3日 平成21年第1回定例会(～12日)
- 4日 議会広報委員会
- 6日 県立沼宮内病院の病院機能充実と維持存続に関する調査特別委員会
- 9日 予算審査特別委員会(～10日)
- 30日 政務調査会役員会
- 4月22日 郡町村議会議長会通常総会(～23日:葛巻町)
- 23日 議員全員協議会 常任委員会所管事務調査会
- 24日 政務調査会第48回定期総会
- 5月8日 議会広報委員会

傍聴をお待ちしています  
次回の  
定例会は **6月中旬** です

### 編集後記

冬から春に移る時期の気候は、寒い日が三日続いた後、暖かい日が四日続く「三寒四温」といわれます。しかしながら、現在の世の中は不況風が吹き荒れ、外需面に加え国内情勢も停滞し、深刻な不景気が長期化するおそれが高まっています。

政府は国民の生活防衛のため、緊急対策を実施しました。なかでも、家計を直接支援する「定額給付金」は、国民のひとりひ

とりに届けられ、岩手町では総額およそ二億六千五百万円が付されます。いろいろ使い道をお考えのことでしょうが、内需拡大の施策ですので、ぜひ町内で活用していただければと思います。

私事ですが、定額給付金は、地デジに使う予定です。

雇用・医療・子育て・環境・食糧・防災など、暮らしの安全を確保することを、最優先事項として取り組み、努力いたします。

(議会広報委員会  
委員 朽木 元治郎)